

■フランス：EDF、電力消費の遠隔管理システムの実証試験を計画

フランス電力会社（EDF）は2009年12月7日、ブルターニュ地方にある600世帯の家庭で、電力消費量の遠隔管理システムの実証試験を実施すると発表した。同地方は従来より電源が少なく、冬期の電力消費ピーク時には、電力不足に直面するリスクを抱えている。今回発表された実証試験は、EDFの子会社であるEdeliaを通じて実施される予定で、同システムにより、需要が急増した際に、家庭の電気暖房装置や電気給湯装置の稼働を遠隔操作により短時間停止させることで、電力消費量を抑制することができる。また消費者は、各世帯に設置された「インテリジェント・ボックス」を通じてウェブ上で、電力消費量(kWh)と価格(ユーロ)をリアルタイムで把握することができる。さらに、各消費者が設定する「最大電力消費量」を超える場合には、同システムより通知され、必要により、電気の使用形態についてEDFのアドバイスを受けることができる。EDFは、同システムの実証試験の成果は、今後のスマートグリッドの展開にも貢献するとしている。